

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校
巡回校：日野市立豊田小学校
令和5年 3月号



一年間、ありがとうございました



今年度のステップ教室の指導が終わりました。保護者の皆様にはステップ教室の指導に、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。ステップ教室では、お子さんの目標に沿った個別指導や小集団活動での指導に加え、特に下記のことを意識してコミュニケーションの指導をしてきました。

友達や先生とコミュニケーションをとる時・・・

- ・相手の目を見て伝える、挨拶する。(アイコンタクト)
- ・「いい?」「いいよ。」など言葉のキャッチボールをして確認する。
- ・相手に伝わるように、声のボリュームを考えて話す。
- ・分からないときは、「もう一度言ってください。」と願います。
- ・相手の話を聞く時は、うなずいたり、相づちをうったりする。
- ・場合によっては、言葉だけでなく表情や動きでも伝える。 など



クラスの友達や先生との関わりの中で、「自分の思いが伝わった!」「コミュニケーションをとることが楽しい!」と感じることにつながるきっかけになれば嬉しいです。

最後になりますが、保護者の皆様にはステップ教室の指導に、ご理解・ご協力いただいたことに深く感謝申し上げます。毎週の連絡帳でのコメントや面談でのお話等からお子さんの家庭での様子を知ることができ、ステップ教室での指導に役立てることができました。1年間、ありがとうございました。

1～5年生の保護者の皆様へお知らせ

ステップ教室で使用していた連絡ファイル(黄色いファイル)は次年度も使用します。
ご自宅での保管をお願いいたします。

<3学期のフレンドタイムではこんなことをしました♪>

※児童の実態に応じて学習しています。一部の活動を紹介します。

【協力福笑い】

お正月遊びの一つである、福笑いを通して「相手に分かりやすく伝える」「相手の指示を聞いて行動する」などの学習をしました。

ペアでおかめの顔を完成させる活動で、一方が友達にパーツを渡して置く場所を説明し、もう一方が目隠しをして、友達の指示をよく聞いて顔にパーツを置きます。説明役の子供は声が小さかったり「こっち。」などとあいまいな表現になったりして、相手に伝わらないことがありました。そこで、相手に分かりやすい表現の仕方を一緒に考えました。子供たちは「ゆっくり伝える方がいい。」「上下左右や、パーツの名前を伝えた方が分かりやすい。」などと考えていました。聞こえる声の大きさや速さで、「もう少し右。」「これは目だよ。」などと詳しく説明し、相手に分かってもらうことができました。パーツを置く役の子供も、友達の説明をよく聞いて、指示通りに動かし、おかめの顔を完成させることができました。

「相手に伝わるように話す」「相手の話をよく聞く」など、他者を意識する経験を積むことができました。



【伝承遊び】



けん玉、はねつき、こま、お手玉など、昔から受け継がれている伝承遊びに取り組みました。「気持ちを切り替える」「うまくいなくてもチャレンジする」をめあてとして取り組み、失敗したとしてもあきらめずに成功するまで何度も挑戦する子ども達の姿を見ることができました。うまくいくコツを友達同士で教え合ったり、成功した友達をみんなで拍手をして喜びを共有したりする姿も見られました。また、グループで伝承遊びを紹介し合う活動にも取り組みました。「協力して発表しよう」「周りを見て動く」などをめあてとして取り組み、調べる内容を分担したり、友達や時間を見て、発表に向けての準備を進めたりする姿が見られました。これらの伝承遊びは、目と手や体の協調性を高めるために効果的です。ご家庭でも、ぜひ親子でチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



【オリジナルすごろく】

「1から、誰もが楽しめるすごろくを作ってみよう」と題して行った活動です。教員もかわり、画用紙のカードにマスの内容を考えて書き、並べ方も子供たちに委ねました。どんなすごろくにすれば、「誰もが楽しめるか」を意識して活動を行うことができました。こんな姿が見られました。

- 体を動かすマスがあってもいいよね。
- ここを分かれ道にしよう。
- 「スタートに戻る」は、このあたりにした方が、ダメージが少ないよね。



自分の意見を、しっかり伝えるとともに、相手の意見を聞くこと、協力して1つのものを作り上げる経験を積むことができました。